

令和7年度第1学期終業式 式辞

本日、1学期が終わります。皆さんにとって、この1学期はどうでしたか。

昨年度は、4月に愛南町で震度6弱を観測した地震が発生したり、6月には百人を超える他校の先生方をお迎えした学校訪問があったりと、普段はない出来事がありました。そのような昨年度と比べると今年度は、全体としては、ごく普通の学校生活を送った1学期でした。そうはいっても、それぞれに二度とない貴重な時間を過ごしたことと思います。そんな日々の中で、私は、朝出会ったときの「おはようございます」や、すれ違うときの「こんにちは」など皆さんの爽やかな挨拶と笑顔に元気をもらっています。

今日はそのような挨拶について話したいと思います。2、3年生の皆さんは覚えているでしょうか。3月に行った生徒総会で、保護者の方からの御意見がいくつか提示されましたが、その中に「一部の南高生しか挨拶しない」という御意見がありました。あの御指摘を皆さんが謙虚に受け止めてくれたのだと思います。今年度に入ってすぐ、ある外部の方から「南高生は、校内だけでなく外で出会っても、みんな気持ちの良い挨拶をしてくれます」と褒めていただきました。その方だけでなく、地域の複数の方から皆さんの挨拶についてお褒めの言葉を頂いており、本当にうれしく思います。

挨拶の「挨」の漢字は「心を開く」、「拶」は「相手に迫る」という意味だそうです。つまり、挨拶とは「自分の心を開き、相手を認め、相手の心に近づく」という意味ですね。良好な人間関係、コミュニケーションは挨拶から始まるとも言われます。生徒会の立会演説でも、たくさんの方が挨拶の大切さを訴えていたことも印象に残っています。

語呂合わせですが、挨拶を次のようにイメージしてはどうでしょうか。

「明るく、温かく いつでも、誰にでも 先に、すすんで 伝わるように、続けて」
特に「伝わるように」つまり、相手意識を持った挨拶を私は大切にしています。少し長いので、前半だけ「明るく いつでも 先に 伝わるように」でもいいですね。自分の中でそのようにイメージして挨拶を交わすことで、かけがえのない高校生活が、より充実するかもしれません。南高が、今以上にもっともっと気持ちの良い挨拶と笑顔と、そして他者へのリスペクトであふれる学校になることを期待しています。

さあ、夏休みです。今年の夏にしかできないこと、未来の自分のために今できること、しっかりと考えて責任感を持って自ら行動に移し、成長の夏にしてください。2学期の始業式に、充実した夏休みを送った笑顔の皆さんと気持ちの良い挨拶を交わすことを楽しみにしています。